

# 平成26年6月12日開催 県政タウンミーティング 寄せられたご意見等への対応状況について

## 1 開催概要

- ・開催日 平成26年6月12日（木）開催時間 午後4時30分から6時まで
- ・テーマ 「学校で知事と語ろう～若者の声を県政に～『農業高校生と語る長野県農業の将来』」
- ・会場 北佐久農業高等学校
- ・参加者 31人

## 2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

### 新規就農者へのサポートについて

#### （ご意見の概要）

私の家は専業農家なので土地も農業機械もそろっていますが、非農家の友達は土地も農業機械もない状況です。若者が新規で農業を始めるのは大変なことです。土地も農業機械もない非農家の者が、すぐに新規就農できる道があってもよいのではないのでしょうか。

#### （知事の発言要旨）

安易に参入できるようにしていけばいいのかと言えば、そうとばかりは言えず、ある程度しっかり経営の見通しを立てて参入してもらわないといけない部分もあると思います。しかし、最初に何も持っていない人のサポートをどうするかはしっかり考えなければいけないと思います。初期投資の話は私もそうだと思いますので、宿題として持ち帰ります。

#### （ご意見に対する対応状況）

初期投資の負担軽減策として、無利子の制度資金が用意されています。また、市町村やJAでは独自に農地の幹旋や機械購入の補助を行っている事例が多数ありますので、これらの活用を検討していただきたいと思います。

なお、高校卒業後すぐに就農することも一つの道ですが、農業法人に就職して働きながら技術を習得する道や、県農業大学校などに進学して技術や経営について学ぶ選択肢もありますので、自分自身にとって最もよい方法をよく考えて、夢を持ちつづけながら農業にチャレンジしてほしいと思います。

【担当課：農政部農村振興課】

### 冬季の栽培作目の研究について

#### （ご意見の概要）

農業収入がなくなる冬期間の生活が大変不安です。例えば、葉物野菜を生産している川上村では、冬にはイチゴの生産を行っていますが、私の地域の冬栽培に適した作目が何なのかは、これから勉強していかなければなりません。仮にアイデアがあったとしても、それにチャレンジするためのバックアップが必要ではないのでしょうか。

（注）作目：栽培される作物の種類

#### （知事の発言要旨）

どういう物を栽培すればいいかというのは、県の農業改良普及センターなどで、助言はできます。けれども、基本はやはり自分でどうマネジメントしていくかということだろうと思うので、そういうこともぜひ、しっかり皆さんで研究してもらい、農業経営が持続可

能になるにはどうすればいいかを一緒に考えてもらいたいと思います。

**（ご意見に対する対応状況）**

長野県の冬期間は、最低気温がマイナスとなり、積雪もあるため、多くの売上を上げるには施設を活用した農業が基本となります。これらの技術指導は農業改良普及センターやJAで行っています。

なお、新たに農業経営を開始したり、新品目を導入する際の融資制度や補助金制度については、地方事務所農政課・農業改良普及センター・JAで相談対応しています。

**【担当課：農政部農業技術課】**

**酪農農家へのサポートについて**

**（ご意見の概要）**

酪農農家では、どうしても休みを取らなければならないときは、酪農ヘルパーという制度を使いますが、ヘルパーを1回頼むのに18,000円かかります。酪農農家がもっと気軽に休みを取れる制度や予算的な支援はできませんか。

**（知事の発言要旨）**

例えば県が補助金を出すことはあり得るかもしれませんが、県の財政が厳しくなり、その補助金が打ち切られたときに、その後に継続できなくなるという話になりかねないので、持続可能な仕組みとして考えなければいけないと思います。

**（ご意見に対する対応状況）**

酪農ヘルパーの人件費に対する直接補助は困難ですが、県では、平成26年度から生産者、団体と連携してヘルパー派遣に係る運営費を助成する積立金を創設し、継続して支援を行ってまいります。

**【担当課：農政部園芸畜産課】**

**学校で栽培した野菜等の販売売上げについて**

**（ご意見の概要）**

野菜を文化祭などで販売しているが、売上げがどうなっているか把握していません。どうなったかを知ることができればモチベーションが上がります。

**（知事の発言要旨）**

その収入の使い方を少し変えられないかと思っています。

**（ご意見に対する対応状況）**

野菜の売上げなどの生産物の売払収入については、県立高等学校の職業科実習費（消耗品代、燃料費、修繕料、飼料代等）の特定財源として、全額県立高等学校の予算に充てられています。今後は、各学校の予算を決める際、生産物の売払収入を予算額に反映させる方法について、検討してまいりたいと考えています。

**【担当課：教育委員会事務局高校教育課】**

**高校統合後の生徒のキャンパス間移動について**

**（ご意見の概要）**

佐久平総合技術高校が開校しますが、1校2キャンパスの不便さに不安を持っています。学

校行事のたびにJRで移動するとなると、交通費の負担が大変です。

**(知事の発言要旨)**

今、直ちに答えられませんが問題意識としては持っておきます。

**(ご意見に対する対応状況)**

入学式や卒業式など、一つの学校として合同で実施しなければならない行事に関して、2キャンパス制に起因する生徒の負担状況を調査・把握した上で、軽減策を検討してまいります。

**【担当課：教育委員会事務局高校教育課】**

**高校統合後の施設整備について**

**(ご意見の概要)**

異なる学科で、お互いの研究発表をしたり、意見・情報の交換をするなどのために、一つの学年が一堂に会して授業を受けられるような講義室を設置してもらえないでしょうか。

**(知事の発言要旨)**

学校を充実させる上での課題があることはわかるので、県の予算も、新しく施設を建てたり、学校の統廃合をする中で、施設整備に予算を振り向けてきています。

特に高校の場合は、学校の維持修繕経費も飛躍的に予算をつけているし、学校を初めとする公共施設の耐震化も、主なものは全て耐震化に着手するよう進めているところです。

**(ご意見に対する対応状況)**

どのような授業で、どの程度の使用を想定しているかなど、学校の教育計画や要望を把握し、検討してまいります。

**【担当課：教育委員会事務局高校教育課】**

**3 問合せ先**

企画振興部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp